

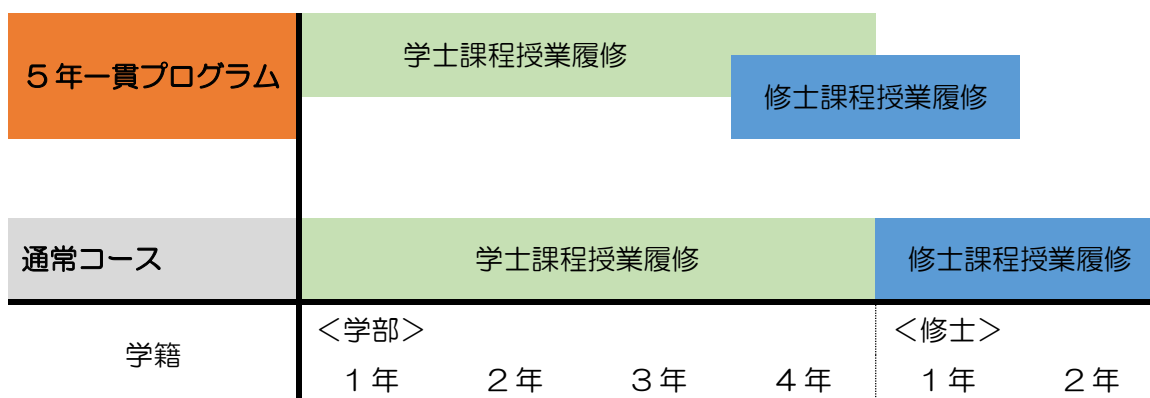
法学部

学部・大学院 5 年一貫プログラム（国際関係論・国際政治史）概要

平成 29 年度（2017 年度）入学者対象

1. 趣旨

一橋大学法学部では、4 年間の学士課程教育に加え、さらに高い専門性を身に着けたい学生のうち、特に優秀な学生に対し、5 年間で学士号と修士号を取得できる「学部・大学院 5 年一貫プログラム」の提供を平成 31 年度（2019 年度）より開始します。本プログラムは、修士課程において国際関係論または国際政治史のいずれかを専門とする学生を対象とするもので、本プログラムに合格すると、学士号・修士号の取得に通常 6 年間掛かるところ、これらを学部入学時から最短 5 年間で取得することができます。



2. 枠組み

本プログラムは、法学部と法学研究科の共催により、学士課程 4 年間で修士課程 1 年間で学士号と修士号の取得を可能とするものです。学部 4 年次には国際関係論・国際政治史分野の大学院科目（一部例外あり）を履修することができ、4 年次に履修した大学院科目のうち、12 単位までは修士課程修了要件に算入することが可能です。12 単位を超えて単位を修得した科目については、修士課程 1 年目に再履修が必要となります。学部 4 年次に履修可能な大学院科目については、「7. 学部 4 年次に履修可能な大学院科目一覧」を参照して下さい。なお、本プログラムで法科大学院の科目を履修することはできません。

3. 修了要件

学士課程：総取得単位数 124 単位以上（うち主ゼミ 8 単位）および卒業論文合格

修士課程：総修得単位数 30 単位（うちゼミ 4 単位、研究指導 2 単位）および修士論文試験合格

法学研究科の修士課程では通常、ゼミ 8 単位および研究指導 4 単位を 2 年間で修得することが求められています。本プログラムは、このうち 1 年間分（ゼミ・研究指導合計 6 単位分）を、ゼミ・研究指導以外の大学院科目単位の修得によって代えることを認めています。

上記以外の学士課程卒業要件および修士課程修了要件の詳細は、それぞれ学士課程ガイドブックおよび法学研究科規則（該当年度のもの）にてご確認下さい。

4. 選抜方法

選抜者数は1学年5名程度です。選抜試験は2段階あり、本プログラムへの参加が認められるためには、学部3年次1月に「修士課程特別選抜入試 学部特別選考」に合格し、本プログラム参加内定者となった上で、学部4年次9月に「修士課程特別選抜入試」に合格する必要があります。3年次の学部特別選考では書類審査と面接により選考が行われ、4年次の特別選抜入試では面接により選考が行われます。

なお、学部3年次1月に留学身分で留学中の学生には、4年次9月に学部特別選考と修士課程特別選抜入試の同時受験を認めます。

5. 出願資格

- (1) 学部特別選考実施時点で一橋大学法学部3年次に在籍しており、翌年3月に卒業見込みの者。ただし、長期海外留学中あるいは長期海外留学予定の者については、学部特別選考実施時点から2年後の3月に卒業見込みの者としてします。
- (2) 国際関係論または国際政治史のいずれかを修士課程での希望専攻分野とする者(出願時点での所属コースは問いません)。
- (3) 法学部科目の単位を3年次の夏学期までに50単位以上修得している者。

なお、外国からの国費留学生および民間財団の留学奨学金受給者は、5年一貫プログラム修了要件を満たすことが可能か、各自で奨学財団等に確認して下さい。

6. その他留意事項

- (1) 学部特別選考に合格すると4年次には国際関係論・国際政治史分野の大学院科目(一部例外あり)の履修が認められ、修士課程特別選抜入試に合格すると4年次に修得した大学院科目単位のうち12単位までが修士課程修了要件に算入可能となります。
- (2) 4年次に長期海外派遣留学を行う学生も、5年間での学士課程・修士課程修了が制度上可能となっています。
- (3) 5年一貫プログラム参加希望者のうち留学を予定している者は、帰国から卒業論文提出までにあまり時間がないことが想定されます。卒業論文はできるだけ留学前の3年生の段階で執筆を開始しておいて下さい。

7. 学部4年次に履修可能な大学院科目一覧

| 法学研究科科目名 | 合同で開講する科目名 | 教授言語 | 単位 |
|----------------|-------------------------------------|------|----|
| 国際関係論特殊問題 A | (IPP) 政策分析の技法 I | 日 | 2 |
| 国際関係論特殊問題 B | (IPP) 国際政治学基礎論 | 日 | 2 |
| 国際関係論特殊問題 C | (IPP) International Security Policy | 英 | 2 |
| ヨーロッパ国際政治史特殊問題 | (IPP) Regional Studies II | 英 | 2 |
| アメリカ政治外交史特殊問題 | | 日 | 2 |
| 中国政治外交史特殊問題 | | 日 | 2 |
| 日本外交史特殊問題 | (IPP) 日本外交政策論 | 日 | 2 |
| 東アジア国際関係史特殊問題 | (IPP) 東アジア国際関係 | 日 | 2 |
| 政治学特殊問題 | (IPP) Global Governance Theory | 英 | 2 |

| 法学研究科科目名 | 合同で開講する科目名 | 教授言語 | 単位 |
|----------------------------|---|------|----|
| 国際問題ディベート | (IPP) 紛争論 | 日 | 2 |
| 国際法特殊問題 C | (IPP) Community Interests and International Law II | 英 | 2 |
| EU 論特殊問題 | (IPP) EU 論 | 日 | 2 |
| EU 法特殊問題 | (IPP) Regional Studies I、(学) EU Law | 英 | 2 |
| Debate on Current Issues A | (IPP) Human Security I | 英 | 2 |
| Debate on Current Issues B | (IPP) History of Cold War | 英 | 2 |
| Debate on Current Issues C | (IPP) International Political Economy of Asia-Pacific | 英 | 2 |
| Debate on Current Issues D | (IPP) International Political Economy I | 英 | 2 |
| Debate on Current Issues E | (IPP) EU-Asia Summer School, (学) GLP 国際セミナー(ベルギー) | 英 | 2 |